

高い水道料金は引下げを

新久喜

2014,10/11 月号
発行
日本共産党
久喜市委員会
久喜市南4-11-22
Tel.22-2365



水道事業の財源に余裕が

7月に実施した県政世論調査で久喜地域は、暮らしが「苦しくなった」が、48%、「税金や保険料などの支払が増えた」が50・5%という結果でした。

水道事業会計はどうか

平成25年度の純利益は8億1449万円、現金残高は45億5460万円でした。事業に遅れはなく、借金も計画

料金引き下げに

必要な財源は

例えば、10%引き下げの2億5000万円あれば実現できます。市は「算定した

3年が経過したので見直しする」としています。水道審議会に「引き下げ」の諮問をすべきです。

水道水の給水停止は

やめるべき

「水はいのちの源」給水停止はやめるべきです。一度でも給水停止した世帯は1342世帯。対面できないまま停止です。生活困窮者ではないのか、しっかり調査をするなどいていねいな対応が求められます。

さらなる消費税増税で生活破壊許すな

「アベノミクスで何か国こつています。

民・市民生活で良くなったものがあるの」「3本の矢で経済を立て直し、賃金を引き上げると言ったけど」「消費税増税で社会保障を充実させると言いながら、何か変わったの」

最近、消費税増税問題でこんな素朴な疑問が国民・市民から聞かれます。むしろ、年末の臨時国会でさらに消費税10%増税への動きに対し、怒りがわき起

安倍政権の経済政策は、国民・市民に増税を押し付けて、大企業への減税で「世界で企業が一番活

動ししやすい国」を目指すの

「3本の矢」は、働く人にも、多くの草の根の反対運動が重要です。

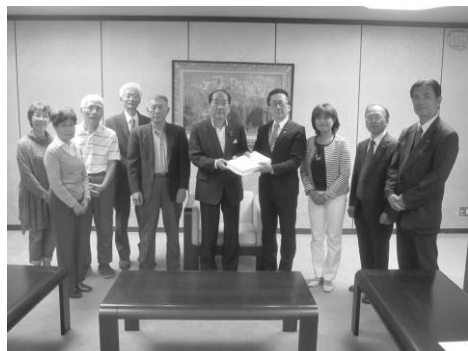
見込みを大きく上回った25年度決算

水道会計	平成25年度の計画額	平成25年度の決算額	比較
純利益	5億 3835万円	8億 1449万円	+2億 7614万円
現金預金	33億 2941万円	45億 5460万円	+12億 2519万円

2015年度予算

要望書を市長へ提出

日本共産党久喜市委員会、久喜市議団は、10月20日久喜市長に、市民の願いである2015年度予算要望書を提出しました。



市民の願い市長へ提出

NHKは 安倍内閣の広報部か

戦争中、日本放送協会は、大本営発表を独占し、うのみに放送していました。戦後、国民を戦争に駆り立てた反省のもと、受信料に支えられた国民のための放送局へと再出発したはずでした。しかし、安倍内閣になりNHKはまるで政府広報局になっていました。多くの国民が反対している消費税8%への増税が強行された日のニュースで「増税分は社会保障の財源に」「高齢化社会を支えるため、苦渋の選択」と念の入れようです。

また、国民の目、耳、口をふさぐ秘密保護法が強行されたその日、NHKの記者は「これから予算案の編成、税制改正などの議論があり、それへの影響を考え、強行採決に踏み切りました。これで『ねじれ』が解消し、決められる国会となった」と・・・まるで政府や自民党の報道官そのものになっていました。

2001年当事内閣副官房長官だった安倍首相は「問われる戦時の性暴力」の製作に介入した事や、NHKの人事にまで手を出して自分の思い通りの報道をさせることなどは、放送法第一条の「放送の普遍不党、真実及び自律を保障する・・・」に違反することになります。

(Y)